

興徳寺便り

第138号
(復刊第63号)
令和4年暮

きょう一日だけでも好く生きなければならぬ。

きょうという日 室生犀星

時計でも
十二時を打つとき
おしまいの鐘をよくきくと、
とても 大きく打つ、
きょうのおわかれにね、
きょうがもう帰って来ないために、
きょうが地球の上にもうなくなり、
ほかの無くなった日にまぎれ込んで
なんでもない日になって行くからだ、
茫茫何千年の歳月に連れこまれるのだ、
きょうという日、
そんな日があったか知らと、
どんなにきょうが華かな日であっても、
人びとはそう言ってわすれて行く、
きょうの去るのを停めることが出来ない、
きょう一日だけでも好く生きなければならぬ。

室生 犀星 (むろう さいせい) ; 明治22年金沢生まれ。生後まもなく真言宗の寺にもらわれ養父母のもとで育つ。高等小学校を中退、12歳で働くも文学への強い思いに20歳で上京、生活苦にあえぐなかで数々の詩をつくり、小説家としても活躍。随筆、童話、俳句にもすぐれた作品を残す。生前刊行された単行本260冊。昭和37年死去。

柱時計の鐘の音を聴く機会もなくなりましたが確かにおしまいの音が大きかったような気がします。その音を境に一日が終わりの鐘の時間の中に溶け込む・・・幼かったころ、一瞬で今日が昨日になってしまふことがとても不思議なことに思えました。歳を重ねて、宮沢賢治の言葉『一つずつの小さな現在が続いているだけである』と出会い、人生とはまさにそういうものだと納得しました。

日蓮聖人、可延定業書の一節「命と申す物は一身第一の珍宝なり。一日なるともこれのぶるならば千万両の金にもすぎたり。一中略一 閻浮第一の太子なれども短命なれば草よりもか



ろし。日輪のごとくなる智者なれども天死あれば生犬に劣る。」
「命というものは、人間にとって最も大切な、第一の宝である。一日でもこれ(命)を延ばすことが出来るならば、千万両の金よりも大変な価値のあるものである。一中略一世界中において最もすばらしい王子であったとしても、短命であったならば、その価値は草よりも軽い。また太陽のように光り輝くような智慧を持つ者であったとしても、若死にしたのではその価値は犬よりも劣るものである。」

早いもので今年もあとわずか。一日一日が過去のひとかたまりとなつて消えていきます。

過去を悔やまず、未来を憂えず、今をしっかりと生きる。

「今日一日が良き日でありますように」と朝いちばんに願い、一日をスタートさせましょう！
そして新しい年を迎えたら「もう一年、長生きできますように」と祈りましょう。

暮れから年始のご案内

12月18日(日) 8:00～ **本堂の大掃除**

暮の忙しい時期ですが 御協力できる方は お願いいたします。2時間程度です。

12月25日(日) 15:00～ **写経** 16:00～**唱題行**

12月31日 **除夜の唱題行** 23:30～

大晦日から新年にかけて1時間の唱題行ですが、冷え込みが厳しく、換気をする事ができませんので閉め切っています。ご理解の上、そとご参加ください。
なお終了後のお楽しみ(新年コーヒータイム)はありません。

1月2日 **新年初法要** 10:00～ 法要 引き続き 法話

興徳寺の初詣です。ほとけさま、ご先祖さまに 越年(おつねん)の感謝の祈りを捧げ、
新しき年の安穏と 新型コロナウイルスの終焉を 御祈願いたします。
いつものように オイシイ甘酒とお汁粉、お年玉付き。お誘いあわせでどうぞ。

1月20日～2月3日 **寒行** 18:45本堂で一読 19:00～20:00 行脚
今年の寒行は一般の参加を受け付けます。マスク着用をお願い致します。

1月20～21日:妙泉寺、22日:定林寺、23～25日:常境寺、26～28日:三澤寺、
29～31日:妙覚寺 2月1～3日:興徳寺。(節分の豆まきはありません)

興徳寺出発のコース 2月1日(水)大畑～押出～下組～鳥並

1月21日(木)辻～久保(大鹿窪)

1月22日(金)天神

* お声をかけていただければ家内安全・身体健全の祈願経をあげさせていただきます。

1月22日(日) と 2月26日(日) 15:00～ **写経と唱題行**

彼岸花 十万本の 浄土かな

信子





法話に替えて
女流講談師・神田ぐれいてるさん の講談。



来年こそ
名物「タケノコご飯」
を復活させたい！



来年こそ！
11月13日、宗祖日蓮大聖人
第741遠忌のお会式。
コロナによる制限下での3年目。
マスク着用、座席の間隔を開け
て、換気に注意しての開催もこ
く普通になってきました。です
が受け付けだけ済まされて帰ら
れる方も多く空席もチラホラ。

【写真提供 高瀬幹雄】



世話人の皆さま、
ありがとうございました。

暮のお経廻りの予定

- 12月1日 稲子～芝川・大久保
- 2日 北山・上井出 山宮・粟倉・舟久保町・村山
- 3日 (土) 万野原新田、大岩・小泉
- 4日 (日)富士市 5日 精進川と下条の一部 6日 下条～青木の一部
- 7日～8日 青木～馬見塚、大中里外神・淀師・淀川町・中島町・穂波町
- 9日西町・貴船町・泉町・大宮町・宮町・豊町～**柚野**
- 10日 (土) 三島～清水・静岡
- 11日 (日)由比、内房、大久保、**柚野**他に希望者
- 12日 富士見ヶ丘・宮原・源道寺・野中・星山・田中町 **柚野**
- 13日～・**柚野**

* 当方の都合で日付変更もあります。
 ** 変更を希望する方は ご連絡ください。

住職のひとりごと

○「新型コロナウイルス第八波が年内にピークを迎えるか」との報道。観光地は人であふれ、各種の規制も緩和されている中、予想されていたことなのだろうとも思います。ここまできて気がつくことなのですが、この新型コロナウイルスが絶滅することははないのだろう、ならばそれぞれの自覚と責任で行動することが大切なこと、と改めて。ただこの1ヶ月ほどの間に檀家さんが2名この病

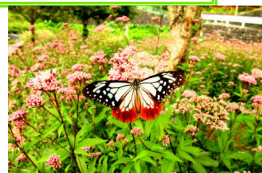


気で亡くなりました。いずれも入院先の病院・施設で感染したものです。遺体の取り扱い・搬送には特別な経費が発生し、遺族にとつてはかなりの負担が強いられ、悲しみプラスやり場のない悔しさや怒りが残ります。

病院・施設からの謝罪などありません。僧侶としてどう向き合えばよいか、と私にとつても新たな試練でした。○この2件ともお寺でお葬式を執り行いました。火葬が終わっているので時間の制約もなく、ゆつたりとした雰囲気の中、ご遺族からも喜んでいただきました。前回この便りの中で紹介させていただいたこともあつてか、今年に入つてお寺での葬儀は興徳寺全体の3分の1になりました。関心ある方は事前に「相談ください」。

○今年の「彼岸花」、台風の襲来などもありましたがかなりの人出でした。昨年の反省を踏まえ、檀家の遠藤一秀さんのご厚意により土地をお借りして臨時駐車場を設置したこともあり大きな混乱はなかったように思います。桜の時もそうですが檀家さん、墓参の方、お寺に用のある方は、いつも通り上の駐車場を使つてください。○「彼岸花、何本くらいありますか？」と良く訊かれます。そんな時に控えめには「3万本」ちよつと強気で「5万本」と答えています。

タイゼン・ケイタイ ; 090-2180-8591



○今年のお檀家さんには「お札(ふだ)」を同封します。「魔除け」となりますので玄関に外向けに貼ってください。その他、暦・貯金箱・年忌案内(該当者に同封しました。ご確認を)。
 ○今回のイラストは「劇団うふふ」の仲間、戸田彩子さん。私のイメージだそうです。
 【泰然記】

したが、三澤寺住職犬浦壽信上人の御母堂・信子さんが『彼岸花 十万本の 浄土かな』という俳句を寄せてくださいました。「10万本とは大げさな」とも思いましたが「もしかしたらもうそれくらいは？」と思ひ直し、これでいくことにします。
 ○新たな名所誕生。『バタフライガーデン』、興徳寺の駐車場の下です。友人の「芝川ギフチョウ保護の会」会長「高瀬幹雄さんと奥様の文江さんが、多くの方の協力を得て作りあげました。10月、100を超すアサギマダラという美しい蝶がいつせいに舞う様はそれはそれは見事でした。見逃された方は来年、是非!